

令和8年2月13日
健康福祉部障害保健福祉課
課長 四木 匡彰
外線：225-1425
内線：4080

子どものこころの専門医養成事業 第2回石川県子どものこころの勉強会の開催について

1 開催趣旨

発達障害や不登校など、子どものこころの問題については、早期に発見し、適切な治療や障害特性に応じた支援を行うことが重要である。

石川県では昨年度より金沢大学と連携し、子どものこころの診療を担う専門医を養成するための寄附講座を設置し、病診連携及び人材育成を促進し、診療体制の強化を図っている。

そこで、子どものこころに関わる各分野の関係者による勉強会を開催し、医療、保健、教育、福祉関係者が連携した支援体制を構築する。

2 主催

国立大学法人金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 児童青年期精神医学講座

3 日時

令和8年3月1日（日）14時～17時

4 会場

金沢港クルーズターミナル2階 セミナールーム（金沢市無量寺町リ-65）

5 対象者

医療、行政、福祉、教育、司法等の機関に所属し、子どもの心のケアに興味をお持ちの方
※今回は関係者・支援者のみを対象としています。

6 内容

「不登校の子ども“卒業後”をどう支えるか

—義務教育終了期における進路・居場所・学びを多職種で考える—

本勉強会では、不登校の中学生が義務教育を終える時期をテーマに、進路の考え方や受験・学習の支え方、卒業後の居場所づくりについて、多職種で症例をもとに話し合います。参加者のそれぞれの視点や経験を共有しながら、「正解を出すこと」よりも、「どのような支援のあり方が考えられるか」を共に探っていくことを大切にします。

7 参加費

無料

8 申し込み・問い合わせ先

国立大学法人金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 児童青年期精神医学講座

（申し込み方法については別添チラシをご参照ください。）

子どものこころの勉強会

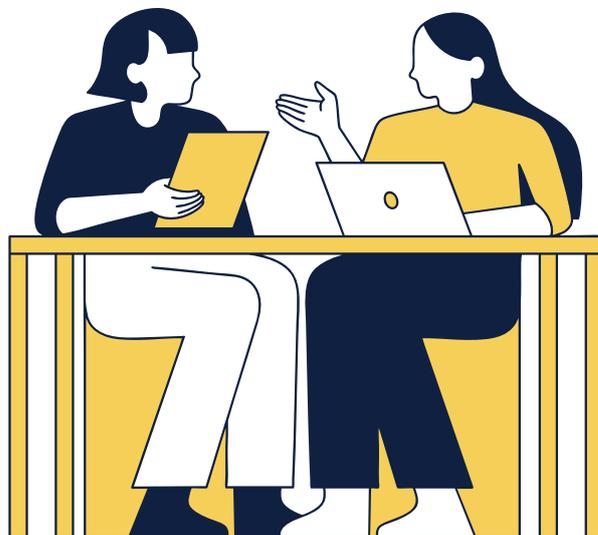
テーマ：「不登校の子ども“卒業後”をどう支えるか

— 義務教育終了期における進路・居場所・学びを多職種で考える —

対象：

医療・行政・福祉・教育・司法等の機関に
所属し、子どもの心のケアに興味関心のある方
※今回は関係者・支援者のみを対象としています。

当日はグループワークを行うため、
参加を希望される方は必ず**事前登録**を
お願いいたします。



本勉強会では、不登校の中学生が義務教育を終える時期をテーマに、進路の考え方や受験・学習の支え方、卒業後の居場所づくりについて、多職種で症例をもとに話し合います。

関わる職種によって、見えている情報や役割はさまざまです。本勉強会では、それぞれの視点や経験を共有しながら、「正解を出すこと」よりも、「どのような支援方法が考えられるか」を共に探っていくことを大切にします。

昨年3月に実施した症例検討会と同様の形式で行いますが、今回はスーパーバイザーを置かず、参加者同士の対話と議論の時間を多く設けることにより顔の見える連携を目指します。

2026年

3月1日(日)

14:00-17:00

場 所 金沢港クルーズターミナル

〒920-0332 石川県金沢市無量寺町リ-65 (JR金沢駅 約5km 車 約15分)
無料駐車場有り 金沢駅から金沢港クルーズターミナル発着バスあり

定 員 80人(先着)

申 込 QRコードからお申し込み下さい

先着人数に達し次第、募集を締め切らせていただきます。



※本勉強会は石川県からの受託事業として実施しています

主催：金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 児童青年期精神医学講座

問い合わせ：kokokoro.kanazawa@gmail.com 電話：076-265-2307
金沢大学大学院医薬保健学総合研究科児童青年期精神医学講座 担当事務：早乙女

